

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000080"/> 整理番号 <input type="text" value="11553"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="淡雪せんだん草とゲットウの焼却体による強アルカリオン液体の作成"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>
適用製品	<input type="text" value="切削用防錆液, 防錆液, ミネラルイオン水"/>
目 的	<input type="text" value="アルカリオン液体の作成は、電解水生成装置やマンガンなどの金属片を投入し、電
源が必要な方法が用いられる。本発明は、天然の植物である淡雪せんだん草および
ゲットウの焼却体を水に投入することにより、強アルカリオンの液体を数秒の短時間で
の作成を可能にするものである。この液体は、切削加工用の油や希釈によりミネラルイ
オン水として飲料などに応用することを目的としている。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明のアルカリオン水は、淡雪せんだん草およびゲットウの焼却体を水に投入す
ることにより作成するものである。加熱処理の温度は500～900℃であり、加熱に要する時
間は全体が灰になるまでの時間でよく、植物体の乾燥状態によって調整する。無色透明
なアルカリオン水の作成に好ましい加熱温度は、550～650℃であり、より好ましくは
570～620℃である。水に投入する量は1Lあたり5～40gで十分であり、pHの上昇に要す
る時間は1秒～1分である。用いる水は天然水であっても水道水であってもよく、温度は
5～60℃でよい。水に投入した焼却体は、pHが安定した後、濾過などの手法により除去
するとよい。得られたアルカリオン水は、pH11～13であり、1年以上の長期間安定して
いる。また、切削加工用の油としての利用以外にも、希釈によりpH8.5以下にすれば、無
味無臭であるため、飲料、調理、医療等に有用である。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp